

## 【 峯を避ける橋 峯橋（へつりばし） 】

峯（へつり）とは侵食や風化を繰り返して出来上がった断崖のこと。

天然記念物「塔のへつり」のように、川による長年の侵食で岩肌が大きくえぐられた地形を言います。

塔のへつりと同じ下郷町にあるこの峯橋は、今年度、補修工事を行いました。橋歴板を見ると昭和45年11月に架けられた橋ですが、それ以前は橋の山側に見える大きくえぐられた岩山の下を通っていました。

かつての国道のアスファルト跡が残っているので、下りてみると分かりますが、大型バスやトラックもこの下を潜るように通っていました。

岩肌を良く見ると、工事で使われたらろうロックドリルの爪跡も残っていました。

こんな危険な場所をよく通っていたなと思いますが、明治15年から福島県令となった三島通庸（みちつね）による会津三方道路のひとつです。

昔は大川溪谷の断崖絶壁を縫うように通していたので、工事をするのも大変だったと思います。

三島県令は、反対派を押し切り強力に土木工事を進める手法から「土木県令」や「鬼県令」の異名でも呼ばれたそうです。

#南会津建設#南会津#福島#東北#建設#土木#工事#福島県#橋梁#補修工事#へつり#三島通庸#会津三方道路#ロックドリル#岩山#橋歴板#断崖#へつり橋#塔のへつり#橋梁補修#橋

#minamiaizu#fukushima#japan#civil\_engineering#construction

